

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 足寄町社会福祉協議会	代表者	国見 勲	法人・ 事業所 の特徴	利用者に対して、家庭的な環境と医療・介護連携の下で、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者その有する能力や意向に応じ、「通い」、「宿泊」、「訪問」のサービスを柔軟に組み合わせ提供し、在宅で自立した日常生活を営む事が出来るように支援する事を基本方針とします。
事業所名	足寄町高齢者等複合 施設 むすびれっじ	管理者	井澤 靖子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	1人	0人	0人	4人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 地域、自治会等連携協働をもっと深めるよう研修やイベントへの参加に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェを通じて福祉課、ボランティアとの協働を行っており、又、カフェが小規模利用者の方の役割になってきている。 町主催の祭り（花祭り）の出店が出来た。 町内で行われる研修に参加した 	<ul style="list-style-type: none"> 町の行事の参加はしているがその他、自治会の活動にも参加してみては？ 介護職員の離職者がいない事から事故防止、個別ケアの継続、地域との繋がりなど様々な事に良い評価に繋がっていると感じる。 利用されている方も職員も明るく元気な印象がある。 全員が参加できる時間帯を設定し全員が共有する問題点を追及する姿勢があった 確実に改善されていると思う。全員の努力の結果を見る事が出来ていると思う。 なかなか自分を表現するのは大変に難しい問題であり、冷静に分析していると思う 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会（はるにれ団地？）との活動に関して小規模事業所とのことだけではなく検討が必要だと感じます 介護職員のみならず利用者の方に関わる職員の質の向上が求められます。ご家族や地域の方の評価を事業所内で検討して改善できるように努め研修を継続して質の向上を目指します。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 設えや環境での意見や改善内容等について運営推進会議に報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体状態、認知症状を考慮して安全と生活しやすい設えに随時、変更しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護職員の挨拶が素晴らしい。見ていて気持ちがいい。 退職された介護員が週に1回、来ているのを見ているが、退職した職場に足を運ぶのだから職場環境が良い事が解る。 整理整頓されており気持ちがいい 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内の環境整備は継続して整理整頓を行います。利用されている方の事故防止、居心地よい設えを随時、必要に応じて行ってゆきたいと思います。 事業所周圍も花壇の整理、草むしりを行い整備に努めます。

			<ul style="list-style-type: none"> ・花や飾り物で季節が感じられるようになっている ・利用者・家族が共に安心して任せられる施設として地域と共に、共存しているという努力がうかがわれる。 	
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流における介護予防教室やまちなか生きがいデイサービス等への参加者の拡大を目的に声掛けをします 	<ul style="list-style-type: none"> ・折り紙、カラオケ、トランプ、体操、町中生きがいデイ等、好みの活動に参加できるように声掛けをしました ・高校生、ラワン・大誉地地区生きがいデイとの交流会を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェや地域交流室での交流、買い物や外出を通して地域との繋がりを継続している ・高校生やデイサービスとの交流の他に保育所との交流を行ってみては？ ・地域とのかかわりについて積極的に参加して行こうという意欲が感じ取る事が出来ると思う。医療・介護・福祉の連携についても高校生との交流など努力が認められると思う。 ・非常に活気がある職場で利用者の皆さん、家族の皆さんも玄関を入ると明るい職員の皆さんの挨拶に安心して利用し、そして元気をもらっているのではないのでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェなど従来の活動の継続を行います ・保育所との交流を行います ・認知症になっても生活の中で行っていた事を継続する ・ご家族の方も一緒に外出(食事・買い物・ドライブ)出来るように計画実行する
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事やイベントの参加を通して地域の高齢者との出会いを増やし多くの知り合い関係を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の情報の発信として「まごごろ通信」の発行を今年度は2回致しました。 ・月1回、福祉課との情報交換を行っております。事業所内の情報提供と、地域から事業所につながる支援について検討しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントの参加を実施している様子を見ている。その他に自治会との繋がりを検討してみてもは？ ・施設のあるべき姿をスタッフの皆さんは常に考えて、色々な研修会、会議に参加している事が利用者からの信頼につながっていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で行われるイベントの参加の継続を行う ・個々の生活の中で行ってきたことの継続の支援を行う
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を多く提供し、意見を聞き事業所の関わりについて理解を得るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討については実施しませんでした。事業内容の報告を行い、どのような方が事業所を利用して頂けるのかを報告しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の時に事業所の取り組みを聞いている。事業所に入ってきたときの雰囲気を利用しての方や職員が生き生きとしている様子が伺える。 ・利用者側に立ってみると利用者が何を求めているかという 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常のケアの報告を行い、理解を深めたい。

			<p>事を再確認する材料になると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に地域との関わりを求めていくことは、利用者本人そして家族の皆さんの大きな信頼を得ることにもつながると思う。 	
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次回の消火訓練では、社会福祉協議会役員及び運営推進委員の参加に向けて計画する。 事業所周辺における公営住宅等の協力を得て防災・災害計画の整備に向けて検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の消防訓練の実施を行っております。 防災・災害計画の整備が終了しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防訓練の実施も行っており問題ないと思える 介護職員が消防団に入隊しており地域で活躍していることが評価できる 災害時には福祉課と連携を取りながら柔軟にサービスを実施していることに評価している 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の実施 災害時、登録者の方の安否確認の強化を行ない、必要に応じて「お泊り」「訪問」を強化する。